

28. 「Failed to create tmpcom object(Permission denied)」エラーが発生する

xups(警報表示デーモン)が参照するファイルのパーミッションの設定によって発生します。シャットダウンソフトウェアを「ネットワーク機能 無効」でインストールした場合は、`/tmp` のディレクトリに `.xups-pid` が xupsデーモン起動時に生成されます。このファイルのデフォルトのパーミッションを変更した場合、root(管理者)以外のユーザでX環境にログイン時 から警報表示ができなくなり、上記のエラーが発生します。

エラーが発生してもUPSの監視には不具合は出ません。ただし、UPS監視デーモンにより発生したイベントを xupsデーモンによる警報表示として通知はできなくなります。

エラーの解消は、以下のファイルのパーミッションをデフォルトに変更してください。変更等の処理はroot(管理者ユーザ)で行ってください。

ファイルのパーミッションは コマンド `ls -al` で確認してください。

ファイル名	デフォルトのパーミッション
<code>/tmp/.xups-pid</code>	<code>-rW-r--r--</code>

変更は、次回のX環境にログイン時より反映されます。